

【教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ボランティア活動	NLA11_015	選択	1	1	通年
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
堤 美智	413	michi.tsutsumi	木曜日 12:00~12:50		
授業の目的・概要	ボランティア活動の基本理念・歴史・社会的意義などの基礎的な知識を学んだ上で、地域のボランティア活動に参加する。ボランティア活動を通じて他者への関心と理解、社会への関心と理解を深め、さらにコミュニケーション能力の向上を目的とする。活動に参加することで自己コントロールや問題解決力、社会貢献力を身につけることを望む。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	ボランティアが地域社会に果たす役割や期待がどのようなものか、なぜ地域社会でボランティアが必要とされるのかを考える。ボランティアから社会と個人の関係のあり方を考える視点を養う。				
教科書	特に指定しない。				
参考書	柴田謙治・原田正樹・名賀亨編『ボランティア論―「広がり」から「深まり」へ』みらい2010年				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ボランティアの理念、意義を説明できる。		HSU(1)(2)		
②	ボランティア活動の背景やその歴史を説明できる。		HSU(6)		
③	ボランティア活動を通して地域社会が抱えている課題を理解することができる。		HSU(5),NS(2)		
④	ボランティア活動に参加することにより、他者理解を養う。		HSU(1),NS(4)		
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション ボランティアが地域社会に果たす役割・必要性について学ぶ。	講義	これまでに学生が参加したボランティア活動を振り返る。	2	
2	ボランティア活動の現状と課題について ボランティア活動の具体的な活動について理解する。	講義	これまでにやってきたボランティアを分類してみる。	2	
3	ボランティア活動を支える仕組みについて学ぶ。	講義	参加してみたいボランティア活動を考える。	2	
4	本学のボランティア活動支援の体制について ・学生サポートセンター ・ボランティア活動の参加方法(マナーを含む)	講義	ボランティア活動に参加する際のマナーや本学での手続きについて確認する。	2	
5~8	ボランティア活動に参加する。	実習	通年で、2~3回、活動に参加する。		
9	<中間報告会>	グループワーク	夏季休暇までの参加ボランティアについて報告する。Teamsにて提出する。	3	
10~14	ボランティア活動に参加する。	実習	通年で、2~3回、活動に参加する。		
15	<ボランティア参加報告会>	発表	報告されたボランティア活動の内容をふまえ、自分にとってのボランティア活動の経験を振り返る。	4	
試	レポート				

【教養科目領域/基盤科目群】

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
総合力指標	知識・技術力	0	50	50	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
取組みの姿勢・意欲	0	15	10	0	0	25	
問題を発見・解決する力	0	15	0	0	0	25	
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	ボランティアに参加して考えたこと、ボランティアから学んだことに基づき、地域社会におけるボランティア活動の展望と課題を見出す。				評価し、フィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①	✓	各学生の体験を発表することから、ボランティア活動で得た知識や学びを報告する。				各学生の中間報告、最終報告会での討論でフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	ボランティア活動の支援・育成を行った経験を有する。						
実践的授業の内容	本科目にふさわしいボランティア活動を模索し、学生の興味や関心にも合わせたボランティア参加の準備状況を整える。ボランティア活動から自発性と社会的な問題提起やその解決策について考える力を養う。						
その他	ボランティアに参加する際は、主催者及び、指導者の指示に従うこと。教員は、原則として同行しない。						